

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(雄踏小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 学校支援ボランティアの方が参加しているところを参観したり、ボランティアの方からの感想や意見を聞いたりして、今後のよりよい学校支援について協議する。
- 教員の負担を少しでも軽減し、子供たちと向き合う時間が確保できるよう、協議する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

校長より学校運営の基本方針について丁寧な説明があり、委員が様々な意見を述べ十分な熟議をすることができた。  
また、学校教育目標の達成に向け、学校の教育構想であるグランドデザインについても理解を深めることができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

学校教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して熟議を重ねることができた。コーディネーターより様々な支援が打ち出されており、児童への支援と共に教職員の負担軽減にもつながるような支援活動が行われてきた。  
協議会での熟議が活かされ、コロナ禍を経ても従来と変わらない充実した支援活動や新たな活動につながっている。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

協議結果や取り組みを、保護者や地域の方に周知してもらうため、ゆうさくだよりの発行に加え連合自治会の回覧板で情報発信を行った。また、当該委員が所属している団体でも積極的に情報発信を行っているが、より支援活動や協議結果を認知してもらうよう工夫したい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・今年度の活動から見えてきた課題改善に向け、継続して熟議を行なっていきたい。
- ・学校支援ボランティアの方々や地域の外部講師を積極的に活用できるよう働きかけ、「雄踏らしさ」や「雄踏ならではの」の特色をさらに出せるような支援活動を行ないたい。
- ・保護者や地域の方にさらに認知してもらうことが、活動への協力や理解が増すことにつながるので、情報発信の手段を検討したい。